

平成29年度 消防本部 施策展開方針 報告書

1. まちづくり政策（消防本部関係分）

政策 04 安全・安心	政策展開の方向性							
	交通安全や防犯活動の推進、生活衛生環境や冬季生活環境の充実などを通じて安全で快適な社会環境を築いていくとともに、地域防災力の向上や消防・救急体制の充実を図ることにより、災害に強く、だれもが末永く安心して暮らせるまちづくりを進めます。							
	平成29年度の実施状況報告							
	04-03 消防・救急の充実							
	平成29年度の各取組を行った結果、「消防・救急活動」に満足している市民割合は微増ではあるものの高水準を維持しています。 ・消防組織体制の充実では、効率的な業務執行体制の確立を図るため、「江別市消防職員人材育成基本計画」を策定して救急隊員の計画的養成を図りました。消防施設等の整備では消防車両・安全装備品の計画的な更新整備を図りました。さらに消防庁舎の長期保全に向けた改修計画の策定にあたり建築物定期調査を行い計画策定に向けた検討を進めました。また地域防災力の向上のため、消防団組織との連携強化を図り各自治会や事業所・学校などの訓練や行事等への参加や女性消防団員等が応急手当講習指導や独居老人宅への防火訪問など、積極的に参加できるよう支援を行い地域との連携が図られました。 ・救急体制の充実では、小学校高学年を対象とした救命入門コース(短時間)を開催し、若年層からの応急手当普及啓発や救急車の適正利用の意識付けを推進するとともに、小中学校教職員に対する救命講習を開催しました。また、市民及び大学生を対象とした応急手当普及員養成講習を開催するとともに、事業所等の救命講習を普及員自らが指導できるよう制度を改正し育成促進に努めました。今後もこれらの取組を継続し、市民の応急手当に対する意識の向上を図ります。 ・火災予防対策の推進では、住宅用火災警報器の適正維持管理に係るパンフレットを広報えべつに差込配布(4,800部)したほか、市民を対象に住宅防火に関する研修会や火災予防啓発のイベントなどを積極的に実施し参加できる機会を増やしました。また事業所などを対象に防火管理意識向上のための研修会等を開催しました。これらにより、個別計画の進捗状況を示す「防火・保安研修会等参加者の市民割合」が上昇しました。今後は、住宅用火災警報器の「更新促進」を重点に、市民に対して防火意識の啓発を図ります。							
	政策の成果指標		単位	(初期値)	H27年度	H28年度	H29年度	目標
	安全で衛生的な生活環境が整っていると思う市民割合		%	78.2	82.2	83.1	81.9	↗
	災害対策が充実し安心と思う市民割合		%	52.1	52.5	56.3	55.9	↗
	消防・救急活動に満足している市民割合		%	89.5	93.4	93.2	93.5	↗
	消防本部が所管する個別計画または重点事業の進捗状況							
「救急隊員養成事業」 応急手当指導員 (一般救急隊員+救急救命士)		人	81	84	86	90	↗	
「江別市消防10か年アクションプラン」 防火・保安研修会等参加者の市民割合		%	23.4	26.8	27.2	28.7	↗	

2. えべつ未来戦略（消防本部関係分）

戦 略	■戦略プロジェクト 「関連事業」(担当課)
戦 略 1 とものつくる協働のまちづくり	
戦 略 2 えべつの将来を創る産業活性化	
戦 略 3 次世代に向けた住みよいえべつづくり	
戦 略 4 えべつの魅力発信シティプロモート	

3. 消防本部の資源

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
歳出決算額 (千円)	一般会計 (A)	223,415	280,230	248,021	246,911	
	特別会計 (B)	0	0	0	0	
	合計 (A+B)	223,415	280,230	248,021	246,911	
正職員人件費 (千円)	人工 (a)	129	129	130	130	
	平均単価 (b)	7,853	7,764	7,670	7,618	
	人件費 (a×b)	1,013,037	1,001,556	997,101	990,340	
総額		1,236,452	1,281,786	1,245,122	1,237,251	